

質量の低い企業が減るということ

企業経営の質と量は、  
衰退期において市場優位を得るための重要な要素になります。

分かりやすく書くと、遊技機を買えるのか（量）、  
粗利率を適正にコントロールできているか（質）、ということです。

遊技機を買えないということは、  
量的な鮮度コントロールができていないことを意味します。

適正な粗利コントロールができていないということは、  
商品の品質管理質ができていないことを意味します。

これではお客様の期待に応えられないため、競争力は得られません。

理想は、遊技機が買えて、適正な調整ができることです。

仮に遊技機を買っても、適正な調整ができなければ、  
市場占有率でトップには立てません。

遊技機を買えないし、適正な調整もできなければ、  
危機的な状況になります。

購入する遊技機を絞り込み、適正な調整をすることは、  
リスクは低くありませんが、生き残るためには一つの  
選択だといえます。

来店動機の70%以上が、好きな機種を遊技したいということは、  
量的なコントロールができなければ、競争の入り口にも立てない、  
ということになります。

パチンコは装置産業ですから、このリソースを生み出せない仕組みを  
構築することができない場合、残念ながらマイナスのスパイラルから  
抜け出すことができなくなります。

パチンコ産業の現状において、実は好調な店舗が増えています。

ニュースとしては、閉店が続いているため不調な店舗が多いイメージかも知れませんが、決してそんなことはありません。

その理由は、プラスのスパイラルが構築できているか、なのです。